

一般社団法人日本病理学会 平成 30 年度事業報告

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

事業の概要

I. 学術集会、研究会等の開催

1. 学術集会の開催
 - (1) 第 107 回日本病理学会総会 (於札幌・笠原正典会長)
 - (2) 第 64 回日本病理学会秋期特別総会 (於呉・谷山清己会長)
2. 研究会、講習会等の開催
 - (1) 第 15 回日本病理学会カンファレンス
 - (2) 細胞診講習会
 - (3) 病理診断講習会・分子病理診断講習会・剖検講習会
 - (4) ゲノム病理標準化講習会
 - (5) 第 12 回診断病理サマーフェスト
 - (6) 各支部における学術・研究集会、「夏の学校」等
3. 市民公開講座・シンポジウムの開催

II. 学会誌、学術図書等の発行

1. 「日本病理学会会誌」の発行 (第 107 巻第 1～2 号)
2. 「Pathology International」の発行 (Vol. 68 4～12、Vol. 69 1～3)
3. 「診断病理」の発行 (第 35 巻第 2～4 号、第 36 巻第 1 号)
4. 「日本病理学会会報」の発行 (第 363～372 号)
5. 「お知らせ」(第 32 号～35 号)の発行
6. 「病理専門医部会報」の発行 (平成 30 年第 2～4 号、平成 31 年第 1 号)

III. 研究および調査並びに知識の普及

1. 「日本病理剖検輯報」の発行 第 59 輯 (平成 28 年症例)
2. 剖検輯報編集方法の充実
3. 剖検記録データベースの更新
4. 病理学卒前教育の充実
5. インターネットホームページの充実
6. 政府等委託・助成事業の実施
 - (1) 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 委託研究事業
「病理診断支援のための人工知能(病理診断支援 AI)開発と統合的『AI 医療画像知』の創出」
 - (2) 平成 30 年度感染症予防事業費等国庫負担 (補助) 金事業
「希少がん診断のための病理医育成事業」

IV. 研究の奨励および研究業績の表彰

1. 日本病理学賞（宿題報告）の授与
2. 病理診断学賞（病理診断特別講演）の授与
3. 学術研究賞（A 演説）の授与
4. 症例研究賞（B 演説）の授与
5. 学術奨励賞の授与
6. 100 周年記念病理学研究新人賞の授与

V. 病理診断関連活動及び病理専門医等の資格認定

1. 病理専門医・口腔病理専門医の認定・試験の実施及び資格の更新
2. 病理専門医の広報
3. 病理専門医研修施設の認定および資格の更新
4. 病理専門研修プログラムの運用指導
5. 暫定分子病理専門医の認定
6. 病理解剖研修の充実
7. 生涯教育の充実
8. 病理診断コンサルテーションシステムの充実
9. 病理精度管理体制の充実
10. 各種ガイドライン等の作成
（「病理診断報告書 患者伝達確認のためのマニュアル」他）
11. 医療における病理診断の推進

VI. 学術団体との協力、連絡

1. 学術団体等との会議共催および後援（国内）の実施
2. 腫瘍取扱い規約等の改訂
3. 海外病理学会との交流

VII. その他目的を達成するために必要な事業

1. 会員システムの充実
2. 医師賠償責任保険加入取扱いの実施